

けいちゃん はんちゃん なあちゃんの
社会見学 の **学研都市**

交野市編

『星田北エリア』に新しい街ができる？

JR学研都市線星田駅の北側では今、新しい街をつくるための開発が進められているよ。
 『街をつくる』って、一体どういうことなんだろう？

どうして星田北エリアに新しい街をつくるの？

きっかけは、第二京阪道路が開通したこと。それによって魅力が高まった道路沿いの土地が乱開発されることなく有効利用されるように、地域の方が中心となって「まちづくり協議会」が設立されたよ。そこでは長い時間をかけて、土地の活用方法や新しいまちの構想案が話し合われてきたんだ。そして、土地画整理事業でそれぞれの土地を用途ごとに集めて街の整備がおこなわれたよ。

星田北エリアってどんなところ？

エリアの端から端まで、歩いて5分ほどで移動できる地区。
 大きく分けて、「住宅地」「商業地」「工業地」「農地」が組み合わさってできているエリアだよ。
 JR学研都市線星田駅や高速道路のインターチェンジがあり、利便性がとってもいい場所だから、工業エリアにはいくつもの物流会社があるんだ。他にも、駅前には商業施設や大きなスーパーがあるよ。このエリアは住む場所と働く場所がまとまって、ひとつの地域に生活に必要な全てが揃っている『コンパクトシティ』となることを目指して、街づくりがされているんだって！家の近くで働いたり、遠くへ出かけなくてもお買い物も済ませられるって、なんだかすごく便利な街だなあ。



事業後も地域の方々でまちの価値を高めていく「まち育て」の取り組みが行われているよ。
 街には6種類の桜が植樹されて、地元の小学生たちが名板を設置など地域とまちのつながりづくりが進んでいます。

けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんの3人が、けいはんな学研都市の8市町(精華町、木津川市、京田辺市、枚方市、交野市、四條畷市、奈良市、生駒市)を全8回にわたって訪問します。
 シリーズ第8回となる今回は、交野市を訪問しました。

農業もよし、働くもよし、住むもよし。
星田、ていいな！

「まちづくりで一番重要だったのは、土地の持ち主からの同意と理解。何年も先に完成する、まだ見ぬ街について理解をしてもらうことに一番時間をかけた。」と、土地画整理組合の人はお話しされていたよ。その新しい街の中で、どのように経済をまわすか？事業として成り立つか？ということも、街へ誘致する企業からも意見をもらったそうだよ。街を育てて未来や次の世代へ繋げるためには、その土地の人とじっくり話し合っ、街自体の魅力や価値をつくるのが大切なんだ。

「この街は『住む+働く』を合わせて考えてつくられた、他の街とはちょっと違う特徴があります。そして、地域住民の思いがこもった土地だから、地元へ根付いた開発が進められているんだ」と交野市職員さんは説明されていたよ。新しい街をつくろうとすると長い年月がかかるけれど、住みやすさや働きやすさが魅力の街になっていくといいね！



自然も楽しめる
INFORMATION

星のブランコ(府民の森「ほしだ園地」)

長さ280m、最高地上高50mの国内最大級の人道吊り橋で、橋の上から見る四季折々の山の風景はまさに絶景です。

府民の森「ほしだ園地」は、ハイキングコースやロッククライミング施設のある自然公園で、大人から子どもまで楽しめるアドベンチャーゾーンがたくさんあります。「星のブランコ」の他にも高さ約16.5mにも及び関西最大級のクライミングウォールがあります。



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
 京都市出身。
 著書『ショート・ショート・キョウト』発売中。
 FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
 毎週日曜20時からOA中。
 SNSにて作品更新中!
 twitter/instagram @ohyeah_saki